

第26回 都市景観フォーラム

「横須賀 ー景観と暮らしを楽しむー」

令和5年2月5日（日）

よこすか都市景観協議会

都市景観フォーラム プログラム

日時：令和5年2月5日（日）

場所：横須賀芸術劇場（ベイサイド・ポケット）

CPD登録

13:30	●開演	主催者挨拶：小泉 厚 / よこすか都市景観協議会会長 来賓挨拶：上地 克明 / 横須賀市長
13:40	●講演 1	おかざき ゆうこ 岡崎 裕子 氏 / 陶芸家
14:40	●休憩	
14:50	●講演 2	おくだいら まさし 奥平 真司 氏 / YouTuber
16:00	●終了	

主催 よこすか都市景観協議会

よこすか都市景観協議会は、横須賀にふさわしく魅力ある都市景観の実現に寄与することを目的に平成9年に設立されました。景観形成に関わりのある諸団体が会員となり、都市景観フォーラムをはじめとする各種事業に取り組んでいます。

令和4年度 よこすか都市景観協議会会員

【正会員】（9団体）

（一社）神奈川県建築士会横須賀支部・（一社）神奈川県建築士事務所協会横須賀支部・ミーズ設計連合協同組合・（公社）神奈川県宅地建物取引業協会横須賀三浦支部・（公社）全日本不動産協会神奈川県本部横須賀支部・横須賀建設業関連団体協議会・（公社）横須賀青年会議所・横須賀商工会議所・横須賀市

【オブザーバー会員】（3団体）

神奈川県横須賀土木事務所・東京電力パワーグリッド㈱藤沢支社・東京ガスネットワーク㈱神奈川西支店

よこすか都市景観協議会が

Instagram をはじめました！



横須賀の魅力ある景観を発信中！
協議会のイベント情報もお届けします。

ytkk_1997

Follow Me!



@YTKK_1997

CPD登録

今回の都市景観フォーラムは、建築士会CPD制度を活用し、希望する参加者に対しCPD単位を登録する予定です。単位の登録には建築士会CPD番号が必要になりますので、CPDカードなど番号の確認ができるものをお持ちください。

◆会長挨拶（よこすか都市景観協議会会長 小泉厚）

◆来賓挨拶（横須賀市長 上地 克明氏）

◆講演1 陶芸家 岡崎 裕子氏

□自己紹介 ～陶芸家として独立するまで～

短大卒業後、アパレル企業である株式会社イッセイミヤケの広報部で勤務。

服飾の仕事は、多くの人が1つのものを作り上げるというものづくりであるが、1から10までを自分一人で作り出すようなものづくりをしたいと思い、陶芸家を目指した。

一見、全く違う分野に思えるが、人々の暮らしに入り込むことができるものという点、使っている人々の気分を高めることができるという共通点がある。

イッセイミヤケを退職した後、茨城県笠間市の陶芸家森田榮一氏に弟子入り、(旧)茨城県立窯業指導所に入所し、釉薬や石膏の型の作り方を学び、独立。

独立の際、どこに窯を作るかを悩んでいたところ、祖父母の土地があった横須賀市芦名にアトリエ兼住居を構えた。(2007年)

～個展の様子～

PLAIN PEOPLEでの個展



Tomio Koyama GalleryとJapan Expo



～陶芸の仕事の様子（芦名のアトリエ） PV の上映～



□横須賀での作陶環境について

横須賀の冬は、日差しが温かく過ごしやすいつ感じている。

都内での生活は情報過多に感じる。自然豊かで、静かな環境で陶芸に向き合いたいという気持ちがあり、横須賀の作陶環境はとても恵まれたものだと思っている。

□横須賀での日々 ～岡崎氏の好きな風景～

・秋谷海岸と富士山

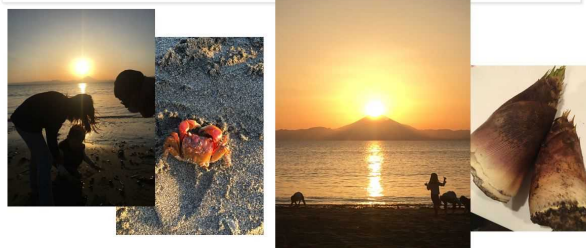
秋谷海岸から見える富士山の景色の紹介。前田橋の信号付近から富士山がとても大きく見える。

2021年には、ダイヤモンド富士を見ることができた。コロナ渦で家族でのおうち時間が増えていたころ、家族と散歩したときに見えた。近所の友人も見に来ていて、タケノコをもらった。美しい景観が近くにあり、近所の方との温かいふれあいがある環境で子育てができることに喜びを感じた瞬間であった。

秋谷海岸と富士山



2021年
ダイヤモンド富士



・秋谷海岸の盆踊りと武山駐屯地の花火

夏の楽しみ。家族で季節を感じることができるイベント。花火は大迫力。



・前田川遊歩道

国道が近くに通っているとは思えないほど自然が豊か。小さい生き物を観察できる。子供達と川遊びがすぐできる環境は、横須賀ならではの環境。



・大楠山とソレイユの丘

大楠山を登っている途中に大きな菜の花畑があり、子供達と思わず記念撮影をした。

観光地でないにも関わらず、こういった美しい景観が突然現れるところが、横須賀の景観の良いところだと感じる。穴場でおすすめ。

ソレイユの丘の遊具等は既に有名であるため、敢えて畑にスポットを当てて紹介したい。収穫体験を子供とできる。価格がとても安いことも魅力だが、野菜の収穫から調理するまでの体験が、身近でできることに素晴らしさを感じる。

・海遊び

トレイルランニング、スタンドアップパドル等横須賀では、多くのスポーツを楽しむことができる。海遊びは子供たちにとって大きな砂場と同じ。とても楽しそうに遊ぶ。



横須賀での生活が良いものだと実感するようになったのは、子育てを始めてからである。横須賀では地域の人達が見守る中で子育てできている。近所の家族と支えあいながら、仕事と子育てを行っている。

□ご近所の方とお付き合い

・餅つき

友人の所有する裏山でお餅つきを行った。

・醤油づくり

1年に1回、ご近所のいくつかの家族と醤油仕込みをしている。圧搾機などを借りて行った。定期的に材料を混ぜる作業に子供たちと参加した。

・キムチ作り

醤油造りと同じ家族で集まってキムチを仕込んだ。集まって、作業をして、美味しいご飯と一緒に食べる。

近隣家族と季節を楽しむ



醤油づくり



キムチ



これまで、東京、茨城、横須賀で生活をしてきた。子供時代の東京は、横須賀にかなり近いものを感じられた。近所の方との繋がりもあり、自然も豊であった。しかし、現在は東京の実家に戻ると、自然も近所の方との繋がりも以前より、少なくなってしまったように思える。

茨城県笠間市での生活は、陶芸家を志す若者にとっては、恵まれた環境に思えるが、どこか閉鎖的な雰囲気がある。誰でもコミュニティに入り込める雰囲気ではない。

横須賀の西地区は、この土地を魅力に感じ移住してきた人が多いため、幅広い感性を持った人たちが混ざり合い、良いコミュニティが生まれていると感じる。

□横須賀での暮らし

・家庭菜園

家の敷地を耕し、近所の牧場から牛糞の肥料をもらい畑を作った。こういったことも横須賀だからこそできると感じる。

・米作り

パパ友のコミュニティで、田んぼを作った。湘南国際村に廃田があり、そこを借りて稲作を始めた。今年で3年目になる。

1年目のお米は驚くほど水分がなく食べられないようなものだった。2年目は、大収穫でとてもおいしいお米になった。一緒に田んぼの世話をした家族と収穫したお米を分け合ってみんなで食べた。子供達も作業に参加した。

- ・美しい景観

やはり横須賀は海が一番美しく感じる。夕日や夜空と、様々な表情を見せる海を見ることができる。東京では味わえない体験。

- ・横須賀美術館

芝生が美しい。海とのコントラストも美しい。

- ・嘉山農園

いちご狩りが車ですぐのところまでできる。それも横須賀の魅力。

□まとめ

横須賀は都内と程よい距離感である。陶芸の仕事の上でも販路確保ができるという利点がある。

また、葉山に近いことも陶芸家としてはメリットがある。リゾート地として独自の文化がある葉山では、器の販売場所が多く、取引先も見つかりやすい。茨城県笠間市で独立をしていたら、得られなかった環境である。

横須賀中央まで車で走れば、新しいショッピングモールもある。基本的には静かに、丁寧に日々を暮らすことができる。豊かな自然の中で、季節の移り変わりを感じることがきる環境で暮らしていることに感謝している。

陶芸という観点からいうと、日々目にしているものがそのまま作品に投影されると思っている。個展の前には、他の作家の作品を見ず、身近にある自然をみて作陶に励んでいる。横須賀で見る美しい風景、例えば山や海、花が自分の手を通して作品になる。そういった意味で横須賀のアトリエがあるから、今の作風があると感じている。

◆講演2 YouTuber 奥平 眞司氏

□導入

半年ぶりに横須賀に帰ってきた。ヴェルニー公園横のスターバックスで、動画の編集作業をしていたのはよい思い出。テラス席で船を見ながら動画の編集をしていた。

□自己紹介

18歳の頃に一人暮らしを始めた。4人兄弟の長男で、愛知県豊川市に住んでいた。兄弟と同じ部屋しがなく、一人の空間に強い憧れをもっていた。

日本福祉大学に入ってから海や山がある知多半島で、一人暮らしを始めた。一人暮らしをしている中で、少しずつDIYや料理を始めようになり、次第にデザインにも興味を持ち始めた。現在のYouTubeで配信しているものの基礎がこの頃にある。

大学を卒業後、デザインの専門学校に通い始めた。2017年の4月にOKUDAIRA BASEを開設。東京に住んでいて、人も建物も多い場所に住んでいたが、大学生時代の自然が多い環境に戻りたい気持ちと、都内へのアクセスが良いという面で横須賀を選び、引っ越しをした。

デザインを学ぶため、桑沢デザイン研究所に通っていたが、とても厳しい学校で有名だった。しかし厳しい環境だからこそ、自分の芯を見つけることができた。デザインの学校と聞くと、目に見えるものを学ぶイメージが強いが、そうではなく考え方を学ぶことができた。

～YouTuber を始めた頃の周りの反応～

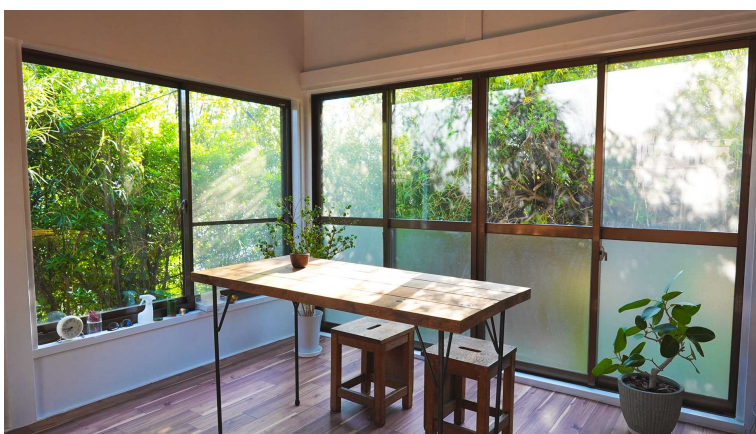
自分がYouTuberを始めたころは、YouTuberという言葉ができ始めたぐらいの頃だった。周りの友達からは笑われたりもした。

□横須賀の景観の魅力について

海や山が多いこと、自然が多いことがやはり魅力。

また、賃貸物件を探していた時に、横須賀には古いが入入れされている物件が多くあり、古い物好きの自分にとっては、魅力を感じた。

横須賀の家を選んだポイントは日がよく当たること、キッチンが広いこと。住み始めてからは、賃貸なので、釘は使わずにDIYをして楽しんだ。



□実際に横須賀に住んでみて

人が温かく感じる。横断歩道を渡るときは、必ず車が止まってくれた。

坂が多いということも感じた。これは、悪い意味ではなく、坂が多いからこそ見られる美しい景観に横須賀ではたくさん出会うことができた。綺麗な景色を見ることが好きな自分にとって、とても嬉しいことだった。1日1回ランニングをしているが、横須賀は山が多くランニングをするとふくらはぎに筋肉がついた。

□横須賀のおすすめスポット

・秋谷海岸

こじんまりして、波が穏やかな癒される空間。プライベートビーチのような雰囲気がある。富士山が大きく見える。疲れた時にバイクできて癒された。

スキムボードというスポーツを横須賀に引っ越してから始めた。小さい波でも楽しめるスポーツで、海が身近にあったから週に2回ほど練習できた。すぐに練習ができる環境があったから、大会に優勝することもできた。

楽しいスポーツに出会えたことも横須賀に感謝している。



・走水海岸

春になると桜が咲く。春の時期にバイクで走水まで走るととても気持ちがよい。海と桜と一緒に見られる景観があるのは珍しい。秋谷海岸とは反対側の湾であり海の表情が違う。

横須賀は半島の真ん中であり、色々な海にすぐ行けるところが住んでいて楽しい。



・リバーストーン

雰囲気がある古いカフェ。地元の人から愛されている。

・ゆらの里

編集作業で疲れたときに、バイクでよく来た。バイクでゆらの里まで走る道のり（マボチョコ）はヤシの木が植えられていて、外国を走っているような気分になる。海が見える温泉というのも珍しい。

・紋四郎丸

秋谷海岸に行った後は、しらすを紋四郎丸で買った。身がふわふわしていて、とても美味しかった。

□横須賀の変わって行ってほしいところ

基本的には、今のままの横須賀でいてほしい。自然が残っていることや、古いものを大事にしているところが横須賀の良いところだと感じる。

敢えて不便な点をあげるとすると電車がなかなか来ないことがあった。しかし、だからこそバイクでの移動が中心となり、横須賀の景観を楽しむきっかけとなった。

□YouTube の動画上映（一部抜粋）

・（動画）【迷子】食材を買いに行っただけなのに...とんでもない所に来てしまった。#211

動画内で紹介している SHO ファームは横須賀の無農薬野菜の直売所。自分で好きな量を測り購入するスタイルで買い物ができ、楽しかった。野菜の味がしっかりしていてとても美味しい。

SHO ファームでの買い物の帰りに、黒崎の鼻（三浦市）に寄った。黒崎の鼻は絶景が見られる場所を探していたら、見つかった。

草木が茂る中をかき分け、迷いながらもなんとか絶景ポイントまでたどり着いた。岸壁の上に植物が生えている景色が珍しい。植生が沖縄のような雰囲気で、西側の海の景色が美しい。

～その土地ならではの魅力的な場所の見つけ方～

普段はグーグルマップで、下調べをしている。気になった場所はマップ上に記録をつけておく。行きたい場所に設定しておく、後からマップを開いたときに目印が付くため、思い出すことができる。

・（動画）お弁当を作って、海沿いに咲く桜の絶景を見に行ったら...

走水水源地公園へバイクに乗ってお花見に行った。桜は既に散って葉桜になってしまっていた。海が近い場所だからか、満開の日が他とずれていて、撮影の難しさを感じた。海と桜のコラボレーションが見られる場所はやはり珍しい。満開の時にまた行きたいと思う。

～海の楽しみ方～

秋谷海岸は家から近く、楽しんだ海岸である。スキムボードは葉山の一色海岸で楽しむこともあった。一色海岸は波が秋谷海岸より立っている印象である。

スキムボードをやっていると天気や風を気にするようになる。西側の海岸では、北風が吹くと綺麗な波が起きる。逆に南風が吹くと、大きく荒れてしまう。そういったときは、三浦海岸にいくと綺麗に波が立っている。30分ほどで、三浦海岸の方に行くことができるため、マリンスポーツを楽しむには横須賀の暮らしはとても良い条件である。

久里浜海岸の方も行ったことがある。久里浜港からフェリーにのって千葉まで行き、キャンプやツーリングを楽しんだ。千葉の方は違う景色を見ることができて良かった。一人の時間が好きな自分にとって、すぐに自然の中に入り癒されることができる横須賀の暮らしは、とても自分に合っていたと思う。

・(動画) 1年間ありがとう。少し不便なお家ですが、いい思い出が沢山あります。

竹に囲まれた家に住んでいた。春になるとタケノコが生えてきて、天ぷら等にして食べた。栗の木があったので、秋になると栗を楽しんだ。なかなか家に生えているものではないので、見つけた時はうれしかった。横須賀の家は四季の移り変わりを感じられ、また、それを楽しむことに適している。

竹の間から差し込む太陽の光が心地よい家であった。横須賀の家は、築50年ぐらいの物件であった。隙間風が吹いたら、自分で埋める等、工夫して古い家での生活を楽しんだ。

横須賀での暮らしは魚が安く手に入るのので、料理に使う回数が増えた。魚介類を使った料理のレパートリーが増えたように感じる。パエリアをよく作った。

自分の暮らしは、よくストイックだと言われるが、そうではない。頑張らない暮らしを心掛けている。



～横須賀に住んでみて感じたこと～

横須賀に住んでみて、バイクで移動することが多くなったからか、一つ一つの景観を楽しむようになった。東京に住んでいた時は見過ごしてしまっていたものを、横須賀に来てから気づくことができるようになった。これは、これからの人生において、自分の生活を豊かにするための大事な発見だと思う。

またいつか、横須賀に戻って住みたい。

□講演会概要

第26回 都市景観フォーラム 「横須賀 ー景観と暮らしを楽しむー」

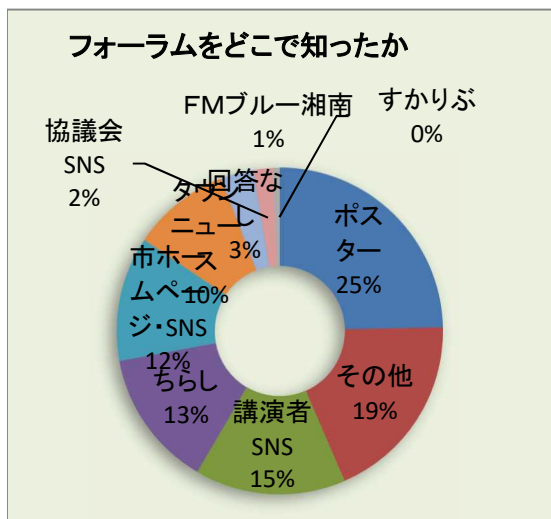
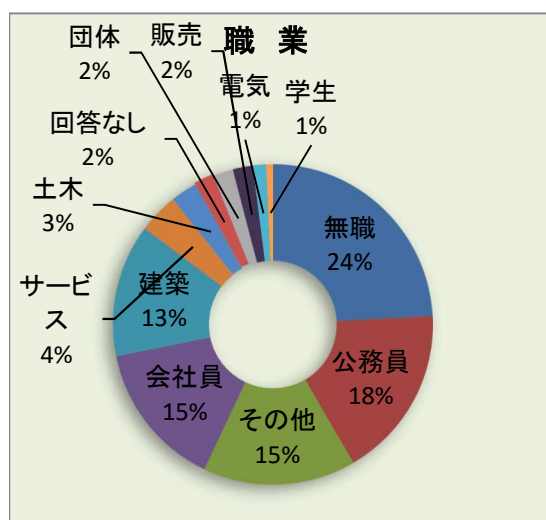
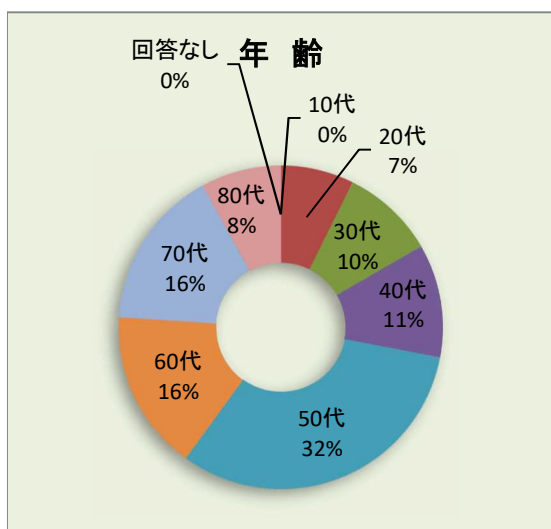
開催日：令和5年2月5日（日）

場 所：横須賀芸術劇場小劇場（ヨコスカ・ベイサイド・ポケット）

時 間：13時30分～16時00分

□来場者データ

来場者数：197名



よこすか都市景観協議会

【会員】 9団体

一般社団法人 神奈川県建築士会横須賀支部
一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会横須賀支部
ミーズ設計連合協同組合
公益社団法人 神奈川県宅地建物取引業協会横須賀三浦支部
公益社団法人 全日本不動産協会神奈川県本部横須賀支部
横須賀建設業関連団体協議会
公益社団法人 横須賀青年会議所
横須賀商工会議所
横須賀市

【オブザーバー会員】 3団体

神奈川県横須賀土木事務所
東京ガスネットワーク株式会社神奈川西支店
東京電力パワーグリッド株式会社藤沢支社

[順不同]

<事務局>

横須賀市都市部まちなみ景観課
〒238-8550 横須賀市小川町 11番地
TEL:046-822-8377 FAX:046-826-0420